



平成31年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年4月12日

上場会社名 前澤工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6489 URL http://www.maezawa.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 正
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部 (氏名) 神田 礼司 (TEL) 048-251-5511
 副本部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年4月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第3四半期の連結業績(平成30年6月1日～平成31年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第3四半期	19,727	6.7	605	116.6	649	89.9	556	86.0
30年5月期第3四半期	18,480	12.5	279	—	342	—	299	—

(注) 包括利益 31年5月期第3四半期 432百万円(△22.1%) 30年5月期第3四半期 554百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第3四半期	30.11	28.69
30年5月期第3四半期	16.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年5月期第3四半期	35,157	17,283	49.2
30年5月期	31,598	16,887	53.4

(参考) 自己資本 31年5月期第3四半期 17,279百万円 30年5月期 16,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	4.00	—	6.00	10.00
31年5月期	—	5.00	—	—	—
31年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年5月期の連結業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	4.8	1,170	9.3	1,200	1.9	900	1.0	48.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年5月期3Q	21,425,548株	30年5月期	21,425,548株
② 期末自己株式数	31年5月期3Q	2,592,324株	30年5月期	3,092,176株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年5月期3Q	18,475,712株	30年5月期3Q	18,333,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、輸出や生産の一部に弱さが見られるものの、個人消費の持ち直しや設備投資の増加などを背景に、景気は緩やかに回復していると思われまゝ。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとあり、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化に伴う人口減少などによる自治体の財政難の顕在化により公共投資は減少傾向にあり、非常に厳しい環境が続きました。

一方で、高度成長期に整備された施設・設備の老朽化に伴う更新や地震などの自然災害、エネルギー問題への対応など、新たなニーズも高まってきております。

このような状況のもとで当社グループは、持続的な成長をめざすために、「Be a Challenger 2020」をスローガンとした中期3ヵ年経営計画（2018年度～2020年度）を策定し、長年にわたり実績を積み上げてきた技術・製品による新市場の開拓やイノベーションによる事業の拡大、更新対応・省エネルギーなど顧客ニーズを捉えた技術・システムの開発・改良・提案により、受注の確保、拡大を図るとともに、グループ一丸となった生産性向上による業務の迅速化や原価低減等により、経営基盤の強化を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高は21,961百万円（前年同期比12.4%減）、売上高は19,727百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

損益につきましては、経常利益は649百万円（前年同期比89.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は556百万円（前年同期比86.0%増）となりました。

なお、当社グループの事業の特徴として、受注した装置類の納期等が3月末に集中することから、売上および利益計上が第4四半期に集中する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①環境事業

環境事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続き、受注高6,710百万円（前年同期比38.7%減）、売上高8,615百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益105百万円（前年同期272百万円の損失）となりました。

②バルブ事業

バルブ事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続き、受注高6,906百万円（前年同期比1.4%減）、売上高6,153百万円（前年同期比10.1%減）、セグメント損失2百万円（前年同期267百万円の利益）となりました。

③メンテナンス事業

メンテナンス事業については、公共投資の減少傾向等により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、施設の長寿命化の需要もあり、受注高8,344百万円（前年同期比17.1%増）、売上高4,958百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益574百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は35,157百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,558百万円増加しました。主な変動項目としましては、受取手形及び売掛金が3,712百万円、仕掛品が1,688百万円増加しており、現金及び預金が2,017百万円、電子記録債権が590百万円減少しております。

負債合計は17,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,162百万円増加しました。主な変動項目としましては、電子記録債務が810百万円、短期借入金が2,300百万円増加しており、未払金が232百万円減少しております。

純資産合計は17,283百万円となり、前連結会計年度末に比べ395百万円増加しました。主な変動項目としましては、利益剰余金が346百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年5月期の通期業績予想につきましては、平成30年7月13日に「平成30年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,049	5,032
受取手形及び売掛金	5,240	8,952
電子記録債権	3,147	2,557
商品及び製品	2,047	2,437
仕掛品	2,164	3,853
原材料及び貯蔵品	1,355	1,320
その他	533	1,050
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	21,537	25,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,117	2,061
機械装置及び運搬具（純額）	754	913
工具、器具及び備品（純額）	438	461
土地	3,613	3,613
建設仮勘定	78	—
有形固定資産合計	7,002	7,049
無形固定資産	57	52
投資その他の資産		
その他	3,010	2,865
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	3,000	2,854
固定資産合計	10,060	9,956
資産合計	31,598	35,157

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,900	3,238
電子記録債務	3,411	4,221
短期借入金	—	2,300
1年内償還予定の社債	290	227
1年内返済予定の長期借入金	746	726
リース債務	15	15
未払金	632	399
未払賞与	352	—
未払法人税等	171	116
前受金	2,121	2,228
賞与引当金	—	194
工事損失引当金	176	132
完成工事補償引当金	74	13
その他	663	702
流動負債合計	11,554	14,515
固定負債		
社債	408	276
長期借入金	1,553	2,040
退職給付に係る負債	905	897
長期未払金	69	59
リース債務	53	49
繰延税金負債	166	34
固定負債合計	3,156	3,357
負債合計	14,710	17,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,233	5,233
資本剰余金	4,794	4,801
利益剰余金	7,207	7,554
自己株式	△1,008	△845
株主資本合計	16,228	16,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	659	535
その他の包括利益累計額合計	659	535
新株予約権	—	3
純資産合計	16,887	17,283
負債純資産合計	31,598	35,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)
売上高	18,480	19,727
売上原価	14,486	15,276
売上総利益	3,993	4,451
販売費及び一般管理費	3,713	3,845
営業利益	279	605
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	64	65
貸倒引当金戻入額	25	—
その他	10	8
営業外収益合計	101	75
営業外費用		
支払利息	23	17
株式交付費	—	7
貸倒引当金繰入額	7	0
その他	7	5
営業外費用合計	39	31
経常利益	342	649
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	19	22
投資有価証券売却損	—	0
ゴルフ会員権評価損	13	—
特別損失合計	32	22
税金等調整前四半期純利益	309	628
法人税、住民税及び事業税	109	165
法人税等調整額	△98	△93
法人税等合計	10	72
四半期純利益	299	556
親会社株主に帰属する四半期純利益	299	556

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)
四半期純利益	299	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	255	△124
その他の包括利益合計	255	△124
四半期包括利益	554	432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	554	432
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,336	6,845	4,298	18,480	—	18,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107	577	15	701	△701	—
計	7,443	7,423	4,314	19,181	△701	18,480
セグメント利益又は損失(△)	△272	267	341	335	△56	279

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年6月1日 至 平成31年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	環境事業	バルブ 事業	メンテナ ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,615	6,153	4,958	19,727	—	19,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178	787	66	1,032	△1,032	—
計	8,794	6,940	5,025	20,759	△1,032	19,727
セグメント利益又は損失(△)	105	△2	574	678	△73	605

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。